

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SORATO(UMIE)いなみ第二教室 ※BLOOMいなみ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 11月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現状として訪問支援員が契約しているお子様全員を担当しているため、毎回決まった職員で訪問できることが挙げられます。それに伴って、訪問先の先生方とも連携が取りやすくなっていると思います。	訪問先の方針を尊重した支援を心がけています。ただ、先生方が他のお子様の対応に追われている時は、先生方の負担を少しでも減らせるよう、必要に応じた支援ができるようにしています。	訪問先での支援の対象のお子様以外にも、気になるようなお子様がいたら、そのお子様の事についても先生方と情報共有、助言などができるようにしていきたいと思います。
2	事業所の方針そして、SORATOいなみ、UMIEいなみ、SORATOいなみ第二教室、UMIEいなみ第二教室の契約者に絞っているが、お子様が利用されている事業所の職員も関係機関連携として、訪問に同席しやすいことが挙げられます。	SORATOいなみ、UMIEいなみ、SORATOいなみ第二教室、UMIEいなみ第二教室をご利用されている方に絞っている為、訪問先との支援の統一性を図りやすくしています。	未就学児の通園先のカリキュラム上、午前中に設定保育などをされている所が多いので、午前に幼稚園や保育所、認定こども園などに通園している未就学児を、午後に就学児の訪問ができるようにしていきたいと思います。

3	<p>保護者様や事業所の職員に、お子様の通園先、通学先での様子について、今まで見えていなかったところが見えるようになり、それぞれのお子様の特性の理解を深められるようになったと思います。</p>	<p>何時何分頃に、どのような場面で、どのようなことをお子様がしていたのか、その時にどのようなアプローチをして、結果としてどうなったのか、情景が浮かびやすいよう可能な限り記録を細かく残し、その詳細を保護者様や職員に伝達するようにしています。</p>	<p>情景が浮かんできて分かりやすい、というお声を頂いていますので、今後も引き続き継続していきたいと思います。</p>
---	--	--	---

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>現状として、訪問支援員は1名のみの配置となっている為、訪問はその訪問支援員ありきとなってしまうことが挙げられます。</p>	<p>事業自体が始まって間もない為、現状の体制は仕方ないところもあると思います。</p>	<p>現在の体制を逆に生かして、お子様への支援は毎回同じ訪問支援員が担当する事で、統一した支援を可能にしています。また、先生方へのアドバイスも毎回同じ訪問支援員が行っていることで、説得力を感じて頂けるように工夫しています。</p>
2	<p>その日のスケジュールによっては、1日中外部へ出向していることもあり、訪問時の様子などをその日のうちに事業所の職員へ伝達することが難しいことが挙げられます。</p>	<p>お子様の通園、通学先の行事予定やカリキュラムの都合上、仕方ない部分もあるが、スケジュールの詰めすぎには配慮しながら、ニーズに応えていきたいと思っています。</p>	<p>お子様の通園、通学先の先生方と連携しながら、お互いに無理のない範囲で訪問支援が実施できるように、スケジュールの調整をしていきたいと思っています。</p>
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 SORATO(UMIE)いなみ第二教室 ※BLOOMいなみ

公表日 2024年 12月 27日

利用児童数 6名

回収数 6件中4件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	50% (2人)			50% (2人)		現状としては、訪問先にある教具や教材を使用させて頂きながら対応できていますが、今後も別途教具や教材が必要になれば、作成や準備を検討していきます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100% (4人)					相談室や会議室を事業所内で完備していますので、他部署と使用場所が被らないように且つ、プライバシーに配慮した環境を整備しています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100% (4人)					お問い合わせを頂いた際やご契約時に、事業の目的を説明できるようにしています。 また、訪問先にも事業の目的等を説明しています。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100% (4人)					訪問日や時間などは、訪問先のカリキュラムや授業の時間、お子様の様子に合わせて適宜相談しながら決定できるようにしています。
適切 な	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100% (4人)					現状として、訪問支援員が1名という体制ですが、その体制を活かして支援の質を担保できるようにしています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100% (4人)				訪問支援員とは、児童発達支援や放課後等デイサービスの時から付き合いが長く、子どもの事をよく分かってきているので安心しています。	お子様やご家族様との縁を感じています。今後も引き続き、お子様にもご家族様にも安心して頂けるような支援を心がけていきたいと思っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、お子様の通園、通学先と事業所との支援の統一ができるよう、そしてお子様が集団生活に入っていけるような手立てを考えながら計画を作成していきたいと思っています。

は 支 援 の 提 供	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、事前に保護者様との聞き取りで得た通園、通学先での様子や担当者からの情報や意向も踏まえて、計画を作成できるように心がけていきたいと思っています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、お子様の特性も考慮しながら、具体的な支援内容を設定できるようにしていきたいと思っています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、計画は職員間で適宜共有し、その計画に沿った支援ができるようにしていきたいと思っています。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、事前に訪問先施設へ日時を相談しながら、カリキュラムや授業の妨げにならないように配慮していきたいと思っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (4人)					今後も引き続き、丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。特にご利用料金に関して地域区分による1単位当たりの単価も踏まえて、具体的な計算例を用いた説明を続けていきたいと思っています。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (4人)					できる限り対面で説明ができるようにしています。時間の都合上、対面が難しい場合は一旦持ち帰って頂いて熟読して頂いてから同意を得られるようにしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	75% (3人)	25% (1人)				今後も引き続き、外部の講師を招いて保護者様も交えた研修会を3カ月に1回ほどの頻度で実施できるようにしたいと思います。その際に、保護者様同士で交流できるような場の設定も検討していきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、家族支援加算としての面談の場の設定に限らず、電話やメールなどでも情報共有できるようにしています。

保護者への説明等

16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100% (4人)				小さな悩み事も親身に聞いてアドバイスして頂き、ありがとうございます。 色々相談にも乗ってくれてありがとうございます。	今後も引き続き、保護者様の悩みが少しでも解決に向かうよう、持っている知識や自分の経験などを駆使して、様々な視点からアドバイスができるようにしていきたいと思っています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、ご家族様や訪問先の先生方とも連携を取りながら、お互いに共通理解を持って支援できるようにしていきたいと思っています。
18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75% (3人)			25% (1人)		今後も引き続き、お子様やご家族様からの相談や申し入れだけでなく、相談支援専門員の方にも対応の体制などについて周知、説明が継続できるようにしていきたいと思っています。
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、お子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達ができるように、そしてその配慮ができるようにしていきたいと思っています。
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	50% (2人)			50% (2人)		今後も引き続き、訪問先施設からの相談に応じ、助言や支援を続けながらも、事業所側からの相談を訪問先施設にも投げかけて、課題解決や支援の統一が図れるようにしていきたいと思っています。
21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、訪問支援終了後に先生方と振り返りをする場を設定し、その際に支援の内容について話し合いができるように調整していきたいと思っています。
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100% (4人)				その時(訪問時)の情報を細かく伝えて頂き、すごく嬉しいです。	今後も引き続き、情景が浮かびやすいように、可能な限り細かく記録を取り、伝達できるようにしていきたいと思っています。

非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50% (2人)			50% (2人)		訪問先での他児のプライバシー保護の観点から、Instagramなどを単独で活用していませんが、連絡体制や自己評価結果などは、今後も引き続き、ホームページやメールなどで発信していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、書類関係は鍵付きの書庫にて保管し、退勤時に毎回施錠していきます。USBの事業所外への持ち出しも控え、個人情報は漏洩の無いように留意していきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、訪問先施設と連絡先を交換、確認しながら、常に連携や実践できるような体制を整えておきたいと思っています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100% (4人)					今後も引き続き、お子様の安全を確保したうえで支援を行えるようにしていきたいと思っています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100% (4人)				学校に様子を見に来てくれるのをすごく楽しみにしていて、当日は恥ずかしがりながらも張り切っているようです。訪問支援員の顔が見られて安心していると思います。	今後も引き続き、お子様にも安心感を持っていただけるような支援を心がけていきたいと思っています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100% (4人)				親の知らない学校での一面を詳しく教えてくれてありがとうございます。	今後も引き続き、お子様の様子を可能な限り細かく観察していき、新たな発見や成長していることなど、プラスになっている事を中心に保護者様にもお伝えできるようにしていきたいと思っています。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2024年 12月 27日

SORATO(UMIE)いなみ第二教室 ※BLOOMいなみ

施設件数

4件

回収数 4件中3件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100% (3件)	0% (0件)	0% (0件)	職員が手薄な時によく手伝ってくれて、その時にその子がどういう状況でどうしようとしていたから、こういった支援をした、と分かりやすく説明してくれている。	カリキュラムや授業の邪魔にならないようにしながらも、お子様に支援が必要な場面では出来る限り対応し、その詳細を今後も先生方にお伝えしていきたいと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100% (3件)	0% (0件)	0% (0件)	教育の目線では気付けなかったことを伝えてくれるし、その子が指示などを理解しやすいように、その子の座席の範囲で環境を整えてくれていると思います。	お子様が集団生活に少しでも入って行けるように、いくつかの方法を考えながら、トライ&エラーの気持ちを持って、今後もその子に合った方法を探るようにしていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	100% (3件)	0% (0件)	0% (0件)	質問に対して必ず何かしらの答えを出してくれるので、その子に合った対応方法を探っていきました。	質問に対しては何かしらの回答ができるように意識しています。今後も様々な成功例をお伝えできるようにしていきたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	100% (3件)	0% (0件)	0% (0件)	自分自身の関りがその子に合っているのかどうか、半信半疑なところがあったが、助言をもらって自信を持てるようになったし、相談できる人が増えたので、困り事が軽減されてきたと思います。	自分の経験や成功例を踏まえて、先生方と共通認識が持てるように今後もやっていきたいです。

5	事業所からの支援に満足していますか。	100% (3件)	0% (0件)	0% (0件)	通園、通学先での支援の方向性と事業所での支援の方向性を合わせられるし、事業所で過ごしている時の様子も聞けるので、良い機会だと思います。	今後も先生方の対応方法をこちらも学ばせて頂き、通園先、通学先で取り入れている支援方法を事業所側にも伝えられるようにしていきたいと思えます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
				<p>その他のご意見は頂いていませんが、先生方の負担を少しでも減らせるよう、そしてお子様が少しでも集団生活に馴染んでいけるよう、双方の支援で良いところを支援の軸としながら、支援の方向性の統一を図り、お互いに困りごとの解決もできるようにしていきます。</p>		



公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		SORATO(UMIE)いなみ第二教室 ※BLOOMいなみ		公表日 2024年 12月 27日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100% (2人)	0% (0人)	基本的には訪問先にて使用されている教具教材を使用して対応しています。	今後課題や改善すべき点が見つければ、その都度適切な教具教材を準備していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100% (2人)	0% (0人)	現時点では適切であると判断しています。	今後、利用希望者数が増加すればその人数に伴って職員の配置数を検討していきます。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (2人)	0% (0人)	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。	引き続き、業務の効率化に努めたいと思います。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (2人)	0% (0人)	年に1回の評価表だけでなく、家族支援加算など保護者との面談からも、保護者からの意向などを聞き、事業所内で共有できるようにしています。	引き続き、業務改善に努めたいと思います。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (2人)	0% (0人)	朝礼後にはミーティングをする場を設定しているほか、定期的に職員面談や管理者会議の場を設定して、意見の共有ができるようにしています。	引き続き、業務改善に努めたいと思います。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0% (0人)	100% (2人)	第三者評価はまだ取り入れていません。	現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。

	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (2人)	0% (0人)	研修は各自メールやFAXでの案内で確認しています。また、月に1回法人が定めた事業所内研修を実施し、資質の向上に努めています。	引き続き、内部研修だけでなく、外部での研修やオンラインでの研修を活用できるように努めたいと考えています。
適切な	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100% (2人)	0% (0人)	保護者が記載した相談受付票や、送迎時や面談、電話等で得た直近の状況に加えて、相談員からの計画書等から課題を整理し、お子様の通園、通学先での支援方法と事業所での支援方法を統一できるような計画を作成しています。	引き続き、双方での支援の統一ができるよう、そしてお子様が集団生活に入っていけるような手立てを考えながら計画を作成していきたいと思います。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (2人)	0% (0人)	計画作成時は訪問支援員も一緒に検討し、共通理解の下でお子様にとって必要な支援を計画できるようにしています。	引き続き、計画作成時には訪問支援員も一緒に内容を検討していきたいと思います。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100% (2人)	0% (0人)	事前に保護者様との聞き取りで得た通園、通学先での様子や担当者からの情報や意向も踏まえて、計画を作成するようにしています。	引き続き、計画作成時には訪問先施設の担当者等とも連携を取りながら、お子様に合った計画を作成できるようにしていきたいと思います。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (2人)	0% (0人)	計画作成時には、職員間で共有する場を設定し、その計画に沿った支援を心がけています。	引き続き、計画作成時には職員間で共有する場を設定し、その計画に沿った支援ができるようにしていきたいと思います。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (2人)	0% (0人)	弊社で導入している「メイプル日誌Ⅲ」のアセスメントツールを使用し、確認をしています。	引き続き、「メイプル日誌Ⅲ」のツールを使用して、適切なアセスメントができるようにしていきたいと思います。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (2人)	0% (0人)	お子様の特性も考慮しながら、具体的な支援内容を設定できるように心がけています。	引き続き、お子様の特性も考慮しながら、具体的な支援内容を設定できるようにしていきたいと思います。

支援の提供

14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (2人)	0% (0人)	計画は職員間で適宜共有し、その計画に沿った支援を心がけています。	引き続き、計画は職員間で適宜共有し、その計画に沿った支援ができるようにしていきたいと思います。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	支援を開始する前には一度支援の内容などを確認できるようにしています。	引き続き、支援を開始する前には一度支援の内容などを確認できるようにしていきたいと思います。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (2人)	0% (0人)	支援終了後には、その日に行った支援の振り返りを行い、そこでの気付き等も記録に残して情報共有をしています。また、その記録をそのお様が通所している事業所の職員にも情報共有できるようにしています。	引き続き、支援の振り返りや気付き等を記録に残し、他部署の職員にもそれらの情報を共有できるようにしていきたいと思います。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問先の理念や支援手法を尊重しつつ、お子様が普段ご利用されている事業所で困っている事、訪問先の先生方が困っている事等も、お互いに共有し合いながら、支援の統一を図っています。	引き続き、訪問先の理念や支援手法を尊重した支援ができるようにしていきたいと思います。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100% (2人)	0% (0人)	毎回こまめに記録を取るよう意識し、その時の支援で上手くいった事やそうでなかった事も含めて、次回への改善に繋げています。	引き続き、継続していきたいと思います。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問時には、担当の先生方と一緒に振り返りをする時間を作り、訪問先の方針や先生方の意向も確認しながら実施しています。	引き続き、継続していきたいと思います。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (2人)	0% (0人)	会議の場には、可能な限り訪問支援員が参加できるようにしています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問先との連携においては、支援の方向性を統一できるように、情報共有する場を作っています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (2人)	0% (0人)	開業して間もない事業なので、まだそういった事例は無いが、今後機会があれば参加できるようにしていきたいと思っています。	次年度以降は、そういった機会に立ち会う場面が想定されますので、その機会があれば参加できるようにしていきたいと思っています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100% (2人)	0% (0人)	事業所内で年間の予算を決めて、その予算内で外部研修を受ける機会を設けている他、事業所内での研修も適宜実施しています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100% (2人)	0% (0人)	スケジュールの都合が合えば参加できるようにしています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問支援終了後には、保護者様と日程調整して訪問時の様子やその時の支援内容の他、最近のご家庭での様子、保護者様の悩みなども踏まえて、共通理解を持てるようにしています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	外部の講師を招いて保護者様も交えた研修会を3カ月に1回ほどの頻度で実施しています。	引き続き、継続していきたいと思います。

27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	ご契約時に、特に重要なところは計算例などを用いた説明を心がけています。	引き続き、継続していきたいと思います。
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	担任の先生、支援の先生だけでなく、園長先生やコーディネーターの先生、教頭先生、校長先生など、様々な先生方にも事業の趣旨や訪問支援の目的等をお伝えしています。	引き続き、継続していきたいと思います。
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (2人)	0% (0人)	事前にお問い合わせを頂いた際に意向を確認したり、相談支援専門員の方を通じて確認したり、できる限り機会を設定できるように心がけています。	引き続き、継続していきたいと思います。

## 保護者等への説明等

30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100% (2人)	0% (0人)	できる限り対面で説明ができるようにしています。時間の都合上、対面が難しい場合は一旦持ち帰って頂いて熟読して頂いてから同意を得られるようにしています。	引き続き、継続していきたいと思います。
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問支援修了後には、家族支援加算Ⅰとして、保護者様と日程調整して訪問時の様子やその時の支援内容をお伝えするだけでなく、最近のご家庭での様子をお聞きしたり、保護者様の悩みなどに対しての助言を心がけています。	引き続き、継続していきたいと思います。
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100% (2人)	0% (0人)	3か月に1回実施している研修会で、保護者様同士で交流できる場を適宜設定しています。	引き続き、継続していきたいと思います。
33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (2人)	0% (0人)	相談や申入れの連絡が入った場合は、できるだけ最短の日程でスケジュール調整できるように心がけています。	引き続き、継続していきたいと思います。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問日時が決定した場合は、その日程を保護者様にもメールやメイブル日誌Ⅲでのリマインダーメールを活用しながら発信しています。	訪問先でのプライバシー保護の観点から、InstagramなどでのSNSを単独で活用していないが、他部署では事業所内での活動の様子などを適宜発信しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (2人)	0% (0人)	書類関係は鍵付きの書庫にて保管し、退勤時に毎回施錠しています。USBの持ち出しも控えていますので、十分留意していると思います。	引き続き、継続していきたいと思います。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (2人)	0% (0人)	スマホを用いたメール、電話など、保護者様にとって利便性の高い方法で情報共有できるようにしております。	引き続き、継続していきたいと思います。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問支援終了後に、先生方と振り返りをする時間を設定しているので、その際に先生方への助言や支援も実施しています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問支援終了後に、先生方と振り返りをする時間を設定しているので、その場をカンファレンスとしています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問支援終了後には、家族支援加算Ⅰとして、保護者様と日程調整して訪問時の様子やその時の支援内容をお伝えし、伸びてきているところ、課題として見えてきているところなども共有できるように心がけています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (2人)	0% (0人)	お子様が他児との関った際の記録は、「Aさん」などで表記し、個人情報の取り扱いに留意しています。	引き続き、継続していきたいと思います。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100% (2人)	0% (0人)	訪問支援終了後に、先生方と振り返りをする時間を設定し、お子様や保護者様への支援の統一、共通認識を持てるように心がけています。	引き続き、継続していきたいと思います。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (2人)	0% (0人)	各種マニュアルを作成し、事業所内にて保管、及び掲載できるようにしています。	引き続き、継続していききたいと思います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (2人)	0% (0人)	安全管理には日々留意しながら支援を実施しています。特に避難訓練は、他部署と合同で且つ、同敷地内にある他店舗とも合同で半年に1回の通報・避難・消火訓練を実施し、各事業所でも定期的に訓練を実施しています。	引き続き、継続していききたいと思います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (2人)	0% (0人)	メイプル日誌Ⅲを用いて、自事業所だけでなく他部署で併用しているお客様のヒヤリハットも共有できるようにしています。	引き続き、継続していききたいと思います。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (2人)	0% (0人)	事業所内研修で虐待に関する研修を実施する他、外部の研修に参加できるようにしています。	引き続き、継続していききたいと思います。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (2人)	0% (0人)	身体拘束が必要な場面が現在は無いが、今後もしそういった場面がある場合は、事前に十分説明して了承を得たうえで計画に記載していききたいと思います。	緊急性、非代替性、一時性、この3つの条件にまずは当てはまるのかどうか、十分に検討してから進められるようにしていききたいと思います。